

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌篠路校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		完全個別での活動になっているので、十分なスペースを確保する事が出来ています	スペースの確保は出来ていますが、もっと様々な活動の仕方があると思いますので、工夫していきたいと考えています
	②	職員の配置数は適切である	5		適切な人数を配置して支援を展開しています	児童の増減に従い、適切な人員配置を行っていきます
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	療育を行う際にはロールカーテンを使用して視覚的な情報を制限すると共に玄関は段差をなくし、スムーズに入室できるようにしています	スロープやトイレ等のバリアフリー化は出来ていませんので、適宜検討中となっています
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎朝、必ず校内清掃を行っています。また、国の方針に沿った対策を行っています	活動後の机や椅子。ドア等の消毒を徹底しています
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		面談や運営会議等を開き悩み事の共有や業務改善に向けた話し合いを行っています	指導員と児発管の間だけで情報を留めず、全員に周知するようにしています
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者様にアンケートの記入のご協力をいただき、実施しています。また、内容全てに目を通し、より良い環境を作れるように心掛けています	皆様からいただいたご意見はもちろん、より良い環境を提供することが出来る様に運営していきたいと考えています

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		どちらも職員全員で確認し、意見交換を行った上で自己評価を行っています。また、集計結果については本校ホームページに記載・公開しています	HPに記載させていただいた際には、随時、報告させていただきます
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	現在、第三者による評価は行っていません	第三者による評価は受けておりませんが、職員間で話し合う機会は設けています
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		発達支援研究所と連携し、事例検討会や各種研修を行っています	コロナ禍の状況を鑑みて顔を合わせた研修は難しいですが、WEBを通して今後も継続して研修の機会を設けていきます
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		職員間での情報交換はもちろん、保護者様や関係機関等にも聞き取りを行い、ニーズに合わせた計画が出来る様にしています	他事業所での活動についても情報共有し、計画書作成に活かしています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		発達支援研究所と連携し、全社で統一したアセスメントシートを使用しています	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		支援時の様子を基にスタッフ間で情報交換を行い、振り返りをすると共に、保護者様にも確認する事で、より具体的な目標が設定できるようにしています	目標が達成されたことが確認できれば、適宜、計画の見直しを行っていきます
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		朝礼時において現状の確認を行い、支援計画を意識出来る様	職員間の情報共有の機会を増やし、より良い支援が提供できるようにしていきます

				にしています	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		担当指導員が行う事が多いですが、内容についてはスタッフ全員で情報共有・意見交換を行っています	職員間の情報共有の機会を増やし、より良い支援が提供できるようにしていきます
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		その日の状況や状態に合わせて臨機応変にプログラムが変更できるように準備しています	多くのスタッフと交流する機会を増やし環境を整えていきます
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	1	4	基本的に個別での支援を行っている為、小集団での活動が難しい状況にあります。	コロナの状況を鑑みながら、ご要望があればイベント等の実施を検討していきます
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼時に当日の打ち合わせをすると共に、気になっていることや必要な情報の共有を行っています	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		終礼時にスタッフ間で振り返りを行い、次回の支援に備える様にしています	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援を行ってから3日以内には記録を作成し、素早く振り返りが出来る様にしています	記録が間に合わない場合は口頭での情報交換を行い、支援に支障がないようにしています
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		スタッフ全員が参加するモニタリング会議を、毎月必ず行っています	
関係機関や保	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		管理者が参加する機会が多いですが、都合が合えば担当指導員も同席するようにしています	担当指導員が参加出来ない際には、事前に資料を作成し情報が遅滞しない様にしています

護 者 と の 連 携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	必要に応じて保育所等の関係機関と連携し情報共有が出来る様になっています	
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5	現在、医療的ケアが必要なお子さんは通所していません	現状は医療的なケアが必要なお子さんは通所していませんが、各機関との連携を取れる準備は進めています
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5	現在、医療的ケアが必要なお子さんは通所していません	現状は医療的なケアが必要なお子さんは通所していませんが、各機関との連携を取れる準備は進めています
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	保護者様からご要望があれば、適宜情報共有を行い、適切な支援を提供できる環境を整えています	現状は条件下にあるお子さんは通所されていませんが、必要に応じて連携する事が出来る体制は整えています
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	保護者様からご要望があれば、適宜情報共有を行い、適切な支援を提供できる環境を整えています	現状は条件下にあるお子さんは通所されていませんが、必要に応じて連携する事が出来る体制は整えています
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		発達支援研究所と連携し、定期的に研修を受ける事でスキルアップを図っています	WEB上での受講が主になりますが、参加出来るような研修があれば積極的に参加していきたいと考えています
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5	コロナ禍の現状を鑑みて、交流の機会はありません	保護者様からご要望があれば検討していきます
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5	コロナ禍である事に加え、時間を取る事が難しく参加出来ていません	状況を鑑みて参加出来るようであれば積極的に参加していきたいと考えています

保護者への説明責任等	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		支援終了後には必ずフィードバックを行い、活動内容をお伝えすると共に、ご家庭や学校での様子についても話を伺うようにしています	保護者様の来所が難しい際には、連絡ノートを活用し情報共有が出来る様になっています
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		5	現状、家族支援プログラムを実施出来るスタッフは在籍していません	研修や実践を通して知識を構築し、支援技術について学んでいきたいと考えています
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		ご契約に際に管理者から説明させていただいています	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		作成した支援計画と一緒に確認しながら説明させていただくことで、内容をわかりやすく説明できるようにしています	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		フィードバック時にお話を伺う事はもちろん、必要に応じて自宅訪問・電話連絡をしています	保護者様のご要望やお悩みに寄り添えるよう、準備をしていきます
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	コロナ禍という事で、こちらから集団になるような活動は控えさせていただいています	コロナの影響も鑑みなら、ご要望があれば検討していきます
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		保護者様からの相談等の申し入れがあった際はスタッフ間で共有し、迅速に対応できるように心掛けています	直接、話しづらいこともあるかと思いますが、目安箱の設置を検討しています
③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4	HP や元気サーチの更新は行っていますが、	長期休み等のお知らせについては、適宜、お知らせします	

				通信等の発行はして いません		
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報が見記されて いる書面について は、鍵付きのロッカーに 保管しています		
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしている	5		聴覚障害や場面性緘 黙のお子さんには筆談 を行う等の配慮をして います	研修の機会を活かし、より 良い環境が整えられるよう にしています	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っている		5	コロナ禍という事もあ り、地域交流は行って いません	現状、交流の機会は設け る事が出来ていませんが、 ご要望があれば検討して いきます	
非常時 等の 対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると ともに、発生を想定した訓練を実施している	5		各マニュアルを作成し 定期的に避難訓練を 行っています	避難訓練の様子について は HP にて公開していま すが、よりわかりやすく皆様に 周知できる方法を検討し ていきます
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っている	4	1	各マニュアルを作成し 定期的に避難訓練を 行っています	避難訓練の様子について は HP にて公開していま すが、よりわかりやすく皆様に 周知できる方法を検討し ていきます
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこども の状況を確認している	5		フェイスシートや保護 者様からの聞き取りを 行っています	発作等が起こった際の対 処方法について改めて確 認を行っています
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に 基づく対応がされている	4	1	アレルギーについての聞 き取りは行っています が、現状、本校では食 べ物を提供していま せん	イベント等で食べ物を提 供する機会がある際は、 改めて聞き取りを行い、際 がないか確認をしていま す
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いる	5		必要に応じて作成し、 事業所内で共有して います。また、HP にて	

				全国のヒヤリハット集を作成し公開しています	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		独自に虐待防止委員会を設立し、研修の機会を設けています	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		現状、身体拘束を必要とするお子さんは来所されていませんが、個別支援計画にその旨の記載をしています	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌篠路校

保護者等数（児童数）：1 回収数：1 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1				楽しく活動しているが少し手狭に感じる事がある	限られた空間の中で満足していただける活動を展開出来る様に心掛けていきます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	1					児童の人数に対し適切な人数配置を行っていきます
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1					事業所内は段差をなくし、ロールカーテンを用いる事で視覚的な刺激を軽減しています
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1				清潔に保たれていると感じる	コロナの影響も鑑みて、今後も清潔な空間を保てるよう努力します
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1					今後も適宜、支援計画を更新していきます
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1					ガイドラインに基づいた計画を立てると共に、お子さんの特性に合わせた内容を検討しています
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1					計画に沿った支援を展開していますが、状況を鑑みて臨機応変に対応できるよう準備を整えています

	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1				複数のスタッフで意見を出し合う事で活動がマンネリ化しない様にしています
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			1		ご要望があれば検討していきますので、いつでもお声掛けください
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1				ご契約の際にお話しさせていただいていますが、必要があれば都度お声がけさせていただきます
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1				お子さんの特性を考慮した上で計画の説明をするように心掛けています
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか			1		現状、家族支援プログラムを行えるスタッフは在籍していませんが、研修等の機会を設けスキルアップ出来る様にしていきます
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1				フィードバックに加え、個別にお話しさせていただく時間を設けています
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1				待ち合いでお待ちの際やフィードバックの際に聞き取りを行っています
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1	そのような機会を希望していません	ご要望があれば検討させていただきますので、いつでもお声掛けください
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護	1				ご要望に迅速に対応する事が出来るようス
	⑰						

		者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか						スタッフ間でも情報共有を行っています
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1					定期的に聞き取りを行う事で、お子さんの発達状況を確認しています
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか		1			HP が公開されている事は知っているが、あまり見たことがない	内容や掲示場所について改めてお話しさせていただく等の周知活動を行っています
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1					個人情報が含まれた書面は鍵付きのロッカーに保管しています
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1					全社で統一されたマニュアルがあり、それに基づいて訓練を行っています
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1					お子さんたちも交えて、定期的に避難訓練を行っています
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	1					楽しみに来所していただけている事に慢心せず、より良い環境が作れるように努力していきます
	㉓	事業所の支援に満足しているか	1					今後も保護者様に寄り添った支援が出来るよう心掛けていきます

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。